

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/3年次/3年次 : /3rd Year/3rd Year
課程等/Program	/高年次配当科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts for 3or4 years students/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/後学期/後学期 : /Second term/Second term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月2 : /Mon.2

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10121202			
科目番号 /Course Number	10160261			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	映画で学ぶ英語と文化 : Learning English and Cultures through Films			
担当教員名 / Instructor(s)	/(西谷 茉莉子) : NISHITANI Mariko			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS2110			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	アイルランド映画から学ぶ英語と文化 アイルランドを舞台とした、あるいはアイルランドがテーマに関わる映画を鑑賞し、英語の語彙の知識を身に付けるとともに、リスニングの力を向上させる。映画で使われている歌もリスニング教材として活用する。また、関連する英語の文書（映画のレビューや背景知識に関するエッセイ、原作となった小説など）の読解を通して、リーディングの力も涵養する。本講義で扱う予定の映画のテーマは、移民、恋愛、歴史的な事件、社会問題、紛争、アイルランド古来の伝説を扱ったものなど、多岐にわたる。映画に関する授業内外でのアクティビティ、および期末レポートの作成を通じて、アイルランドの社会的・文化的背景を学んでほしい。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第1回	イントロダクション 授業の進め方の説明、アイルランド映画についての概説、『ブレンダンとケルズの秘密』
	英		
2	日	第2回	『ソング・オブ・ザ・シー』
	英		
3	日	第3回	『静かなる男』 1
	英		
4	日	第4回	『静かなる男』 2
	英		
5	日	第5回	『P. S. アイラブユー』
	英		
6	日	第6回	『ブルックリン』 1
	英		
7	日	第7回	『ブルックリン』 2
	英		
8	日	第8回	中間テスト
	英		
9	日	第9回	『マイケル・コリンズ』
	英		
10	日	第10回	『麦の穂をゆらす風』 1
	英		
11	日	第11回	『麦の穂をゆらす風』 2
	英		
12	日	第12回	『イニシュリン島の精霊』
	英		
13	日	第13回	『ベルファスト』
	英		
14	日	第14回	期末レポート作成準備
	英		
15	日	第15回	受講者による発表
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	DVD またはオンラインで映画を見られる環境があることが望ましい。
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	毎回、指示にしたがって予習を行ったうえで授業に臨むこと。中間テスト、まとめのテストを通じて、理解度をはかる。学期末に、授業で扱った映画、およびテーマに関連して論題を各自で自由に設定してレポートを作成してもらう。 本講義に対しては、67.5時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	資料を配布する。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	授業参加度（発表や発言など）10%、中間テスト 30%、まとめのテスト 30%、期末レポート 30% ※5回を超えて欠席した場

	合、評価の対象としない。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	受講者数など、状況に応じて授業計画を変更する場合がある。
英	